



松 明

(平成31年1月発行・隔月発行) 2019 vol. 1



P3 「防災訓練」より

「平成31年 年頭のごあいさつ」

独立行政法人国立病院機構福島病院長 氏 家 二 郎



新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

当院におきましては、2016年10月に重症心身障害児(者)病棟を120床から164床へと増床し、県内の新生児・小児集中治療室の後方病床としての機能を拡大するとともに、レスパイト病床を設置して、在宅医療や介護で頑張っておられる家族の方々の支援するなど、新たな診療を展開しております。

また、2018年4月には脳神経内科医師が3名体制となり、筋・神経疾患や神経難病をはじめとする神経疾患医療を本格的に開始いたしました。この新たな診療分野の開設に際しては、当院メディカルスタッフの他施設での研修や院内勉強会などにより事前から準備を進めていたこともあり、円滑なスタートを切ることができました。この間お世話になりました関係機関の方々にはこの場を借りて改めて御礼申し上げます。

上述のとおり、当院では慢性疾患に関する医療の拡充が図られましたが、このように状況が変化する中であっ

ても、職員の方々が的確に対応し業務に精励されていることに対し、心より敬意を表したいと存じます。当院は今後も地域の医療ニーズに応えながら、質の高い医療を提供していきますので、職員の方々には引き続きご協力いただきますようお願い申し上げます。

さて、当院は昨年にもまた多くの方々から暖かいご支援を頂戴し、充実した1年を過ごすことができました。地域の方々には種々のボランティア活動や院内での催しなどで多大な援助を賜り、県外からもプラネタリウムなどの慰問で来院いただくなど、当院は皆さまのご厚情で支えられていることを改めて実感いたしました。ご支援いただいた多くの方々には心より御礼申し上げますとともに、本年も診療体制の更なる充実を図り、地域の病院や診療施設との連携を強化し、誠意のこもった医療を提供していくことで温情に報いていきたいと考えております。

本年も皆さまにとって最良の年でありますよう祈念し、年頭のご挨拶といたします。

本号のご案内

- | | | | |
|--------------------------------|---|---|---|
| ●平成31年 年頭のごあいさつ | 1 | ●療育だより Merry Christmas! ~宇宙人やサンタがやってきた~ | 5 |
| ●亥年を迎えて 年男・年女より「今年の抱負」 | 2 | ●看護部だより 平成30年度「既卒看護師研修」を終えて | 6 |
| ●平成31年新年初祈禱について | 3 | ●この季節の感染管理について | 6 |
| ●防災訓練 | 3 | ●健康プラザ 食事から冬の健康管理 | 7 |
| ●第72回国立病院総合医学会に参加して | 4 | ●地域医療連携室だより 登録医のご紹介 | 7 |
| ●看護学校だより 将来の看護師像を描くーボランティア活動から | 5 | ●外来担当医表 | 8 |

納得の医療で地域や社会に貢献

病院理念

福島病院では「納得の医療」で地域や社会に貢献を理念として掲げ、職員一同、●人間として対等な患者さんの目線に立ち、●分かり易い説明を行い、同意を得た上で、●安全・安心で質の高い、患者さんやご家族を始め、地域社会の方々、勿論病院職員など誰にでも納得していただける医療の提供を常に心掛けております。

亥年を迎えて 年男・年女より「今年の抱負」



企画課
契約係
成田 麗
(なりた うらら)

●新年明けましておめでとうございます。

福島病院に採用になり、2年が経とうとしています。2年目になり、知っていることが増える一方で、分からないことに興味をもつ機会がたくさんあり、日々勉強だなと感じています。事務部、企画課をはじめ、皆様には貴重な経験をさせていただき感謝しております。

今年は昨年以上に、学んだことを病院に還元していけるよう努力したいと思います。福島病院のために頑張りますので、よろしくお願いします。

明るく楽しい一年にしていきたいと思います。本年もよろしくお願いいたします。



リハビリテーション科
作業療法士
山本 圭人
(やまもと よしひと)

●新年明けましておめでとうございます。

今年度から新社会人として福島病院に入職し1年が過ぎようとしています。始めは何もわからなかったリハビリテーション業務や事務仕事も、職員の方々の熱心且つ優しいご指導のおかげで少しずつこなすことができるようになったと思います。また新天地となりました須賀川市での生活も程よい気温や花火、松明明かしといった盛り上がる行事のおかげで心身共にリフレッシュして楽しく過ごすことができています。

昨年は仕事を覚えることで精一杯でスキルアップが思うようにできませんでした。今年は研修や勉強会に積極的に参加しリハビリテーションのスキル向上に努めたいです。高めたスキルを各患者様に提供し、機能回復や笑顔を届けられるように日々の業務を楽しく頑張っていきたいと考えています。

今年も1年間よろしくお願い致します。



放射線科
副診療放射線技師長
菅野 典子
(すがの のりこ)

●新年明けましておめでとうございます。

福島病院に赴任して、4年が経とうとしています。加えて今年は4回目の年女。月並みな言葉ですが「月日の経つのは早いもの」を実感せざるを得ません。

放射線科も今年は、機器の更新等、様々な場面で正念場を迎えることと思います。少人数の部署ではありますが、まさしく「少数精鋭部隊」として日々の検査に向き合えたらいいなと考えています。

いのししといえば、「猪突猛進」を連想してしまいます。(自分にも若干の傾向があります)勢いを持って前に進むこと、そして時には冷静に行動を検証すること。職場長としてこの2つを念頭に今年も仕事を楽しみながら、頑張っていきたいと考えます。

今年も福島病院のスタッフ皆様のご協力を得ながら、安全で有効な画像提供を行っていききたいと思います。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



第3病棟
准看護師
草野 光子
(くさの みつこ)

●新年明けましておめでとうございます。

福島病院に入職してから30年が経ち、仕事と子育てと無我夢中で頑張ってきたあっという間に過ぎ、長いようで短かった様に思います。

長年、重症心身障害者(児)病棟に勤務していますが、業務に追われなかなか患者さんとコミュニケーションをとることが少なくなってきたように思われますが、楽しいこともあり患者さんの笑顔を見るととても癒やされます。

今年は年女、還暦を迎える年になってしまいましたが、気持ちは若く楽しみながら、多少の不安はありますが、充実した1年になるように頑張っていきたいと思います。

今年もよろしくお願いいたします。

平成31年新年初祈禱について

管理課 管理課長 葛 西 幸 治

1月4日（金）年頭にあたり、当院大研修室において、神炊館神社（おたきやじんじゃ）の宮司様にお越しいただき、新年初祈禱を執り行いました。（神炊館神社は、奥州須賀川地方の総鎮守で、奥の細道の途中芭蕉が参詣した神社として知られ、地元の皆様から親しまれています。）

氏家病院長以下 30 名の職員が参列し、厳粛な空気の中、今年一年を無事息災で清々しく過ごせるように、院内の安全、病院の発展について祈願し、修祓、祝詞奏上、玉串奉奠の儀が行われ、新たな年を迎えました。

平成 31 年福島病院はより良い医療を提供できるよう、一層の取り組みを行って参りますので、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



防災訓練

管理課 庶務係 熊 澤 龍

平日の夜間帯に火災が発生した場合を想定し、平成 30 年 11 月 29 日（木）に総合訓練を行いました。訓練の主な内容は火災発生の際の通報、消火活動、避難誘導、情報収集となり、火災発生の際の消火活動と患者様の安全確保が目的となります。

今回想定した夜間に火災が起きた場合、日中に比べ配置職員が少ないため、効率のよい誘導と院内他部署からの応援を仰ぐことが重要となります。

訓練は、実際に火災警報装置を作動させ、消防署への通報など本番さながらの状況で行いました。事務当直者は、火災状況の把握から警報装置の操作、消防署への通報、他部署への応援要請を行い、併せて当直医師が本部の設置と避難誘導の指示、当直看護師長は火災発生病棟での患者様の避難指示と本部への報告、病棟勤務者は出火場所の特定から患者様の避難誘導を行いました。

訓練は概ね計画どおり実施でき、院長より、大きな声での指示、連携などの確に行われていたと評価いただきました。また、防火管理者である事務部長からは、避難誘導後の病室確認の際には、完了確認と延焼防止のためドアを閉めるよう講評をいただき、今後に生かせる訓練となりました。



第72回国立病院総合医学学会に参加して

(兵庫県神戸市、平成30年11月9日(金)・10日(土))

附属看護学校 教員 葛岡 千郁子

昨年、11月9日(金)10日(土)に兵庫県神戸市で開催された第72回国立病院総合医学学会に参加しました。私は「学習者としての主体性を高めるための取り組み〜ルーブリック評価の観点の見直しから〜」についてポスターセッションで発表を行いました。

発表に関しては緊張いたしました。まとめや発表方法についても、サポート下さいました教職員の先生方、発表当日も含め、教育主事先生、福島病院の職員の皆様が見守って下さり、とても心強かったです。ありがとうございました。

今回、全国の国立病院機構の看護教職員と教育への取り組みや課題、また、教員や臨床との協力体制などについても、意見交換でき、共通の課題や対策の違いとその理由を知ること、貴重な学びの機会となりました。また、基調講演や他職種、他部門の研究発表に触れ、プレゼン方法については勿論、改めて協働することの意義や

その有効性、それは患者さんに還元されているのかと見直す機会となりました。よりよい医療・教育を振り返る場として国立病院総合医学学会に参加し、共有できる多くの仲間がいることを嬉しく感じました。このような機会を頂きましたことに感謝申し上げます。



療育指導室 主任保育士 天内 奈津子

平成30年11月9日(金)～10(土)に兵庫県神戸市で開催された、第72回国立病院総合医学学会に参加させていただきました。神戸に着くまでは、曇り空で肌寒く小雨も降っていましたが、発表当日は快晴でした。今回は、「重症心身障がい病棟における日中支援活動支援充実に向けた取り組みに関する報告」についてポスター発表をさせていただきました。緊張しながらの発表でしたが、無事に終えることができました。

発表に向けた準備をする中で、大変なことも多く、戸惑うこともたくさんありましたが、無事に終わってみると、学びが多く貴重な経験となりました。また、総合医学学会では、他職種参加の学会のため、様々な研究発表を拝見させていただくことができました。今回得た経験を今後の業務の中に活かしていきたいと思っております。このような機会をいただき、この場をお借りして感謝申し上げます。



私は、平成 30 年 10 月 20（土）に開催されました病院祭にボランティアとして参加しました。はじめは、やってみたいという軽い気持ちでしたが、この機会でも大切なことを学びました。今回の私の目標は笑顔で参加することでした。演奏会では私自身が楽しみ、笑顔で手拍子をしました。その時、私の隣にいらした患者さんがニコニコと笑顔で私の手に優しく触れ、一緒に手拍子をしてくださったのです。私は参加者みんなと一緒に楽しみ共に幸せな気持ちになっていると実感しました。ここで学んだことは笑顔が大事ということです。私は顔が怖いと言われることが多く話しかけにくい雰囲気があります。ですが患者さんは優しく手に触れ、一緒に楽しんでくれました。私が純粋に音楽を楽しんでいたというのがありますが、私自身も笑顔だったことで、患者さんが安心していただけたのかなと思いました。私はまだまだ未熟で患者さんに満足していただける看護を提供することは難しいですが、不安を与えず、安心して過ごせる

よう笑顔で接していきたいと改めて感じました。患者さんからより多くお話を伺い、患者さんの気持ちを受け止め、寄り添うことで少しでも不安を軽減できたらと思います。

このボランティア活動を通して、私は将来、患者さんにとって温かい看護師になっていきたいと決意しました。



病棟では、療育活動の時間に「赤花のトナカイ」などのクリスマスソングが聞こえてきます。さて、重症心身障害児・者病棟では 12 月 19 日（水）にクリスマス会が開催されました。今年の出し物は、療育指導室スタッフによるハンドベル演奏とダンス。ハンドベルの音色に聞き入っている方や中にはウトウトしている方も見られました。そして、特別支援学校の先生方による劇「よっしーとサンタと宇宙人」。いつもと違う先生の姿や様子に驚いた表情を浮かべている患者さんもありました。須賀川支援学校の先生方、驚きと笑いそして素敵な歌声をありがとうございました。

また、各病棟にプレゼントを持ったサンタクロースがやってきました。サンタクロースの登場よりもプレゼントの中身が気になっている方も・・・。プレゼントの中身は DVD や CD、リラックス枕やすごろくでした。療育活動の時に大活躍しそうです！！



当院では平成30年度4月、これまで他病院で働いていた経験豊富な既卒看護師14名が採用となりました。多くは4月から診療開始となった脳神経内科病棟に配属となり、固定チームの看護体制にも徐々に慣れ、患者中心の責任ある看護を提供しています。そのほかの看護師も他病院では経験のない重症心身障がい患者の看護に関わり、技術面でも人工呼吸器の管理を習得し、現在は日々患者の持てる力を発揮させるべく熱心に取り組んでいます。

今回採用後9ヶ月が経過した12月に「既卒看護師と看護部との意見交換会」を開催しました。時間内研修ではありますが、ケーキを食べながら参加者同士各職場での勤務状況を語り、また一方で業務の改善点については様々な視点から建設的な意見を提言していました。

看護師としての経験値は様々ではありますが、病棟の問題点に着目しその課題解決に向けて、自分自身が病棟内の発信者となって、他者を巻き込んで改善していけ

るよう研修生1人ひとりにリーダーシップを発揮して欲しいと強く感じた研修でした。

既卒看護師14名の今後の飛躍を期待するとともに、一緒に働く仲間として迎え入れてくれた当院職員の皆さんに感謝いたします。



この季節の感染管理について

感染管理認定看護師（副看護部長）高橋 雄司

最後の「平成」となる2019年が始まりました。新元号がどうなるのか気になるところです。

平成の感染症といえば、新型インフルエンザやSARSにMARS、エボラ出血熱やジカウイルスなど、日本国内だけでなく世界中で大きな問題となりました。世界がグローバル化する中、感染症もグローバル化していることには医療関係者だけでなく、全ての人が注意しなければならない問題だと思います。

福島病院では昨年末より、入院患者様への面会制限を行うことといたしました。福島県感染症発生動向調査週報で「県内の1定点当たりのインフルエンザ患者報告数が流行開始の目安となる1.00を超えました。」との情報をもとに対応を検討した結果、面会制限に至った次第です。入院患者様の安全のための措置としてご理解、ご協力をお願いします。

感染予防のためには、手指衛生や咳エチケットを行うこと、予防接種で感染症に備えることが重要です。また、感染症についての正しい知識をもつことも非常に大切です。自治体や保健所のホームページや広報誌はとても身

近な情報源となります。興味と関心をもっていただければ、ご自身はもちろん、身近な人も感染症から守ることにつながると思います。福島病院の広報誌もその一役を担うような存在となれるよう、様々な情報をお届けしていきたいと思います。2019年もよろしくお願いいたします。



気温が下がり、体調を崩されている方も多いのではないのでしょうか。毎日の食事から、風邪予防をしていきましょう。抵抗力を高めるタンパク質やビタミンC、粘膜を保護するビタミンA、血行促進効果のあるビタミンEを補給しましょう。

【タンパク質】

多く含まれている食品:肉、魚、卵、大豆製品(豆腐、納豆)など
ポイント:1食に1品は食べる。3食違った食材にしましょう。

【ビタミンC】

多く含まれている食品:イモ類、果実、野菜類など
ポイント:ビタミンCは熱に弱く、水に溶けやすい水溶性ビタミン。茹でてでもビタミンCのこわれにくいじゃがいもや調理せず食べられる果物を取り入れてみましょう。

【ビタミンA】

多く含まれている食品:卵、チーズ、緑黄色野菜、レバー、うなぎなど
ポイント:ビタミンAは脂溶性ビタミン。油と一緒に調理することで吸収率があがります。動物性のビタミンAは吸収されやすいです。

【ビタミンE】

多く含まれている食品:種実類、植物油、魚介類、かぼちゃなど
ポイント:ビタミンEは植物油に豊富に含まれていますが、酸化が進むため早めに使い切ることが大切です。土の中で越冬させた人参やちぢみほうれん草のような寒さにあてた野菜は、市販のものと比較してビタミンE含有量が多くなります。

上記の食品を多く食べれば効果があるというものではありません。バランスの良い食事を基本に、いつもより意識して取り入れてみましょう。



地域医療連携室だより

登録医のご紹介

医療法人 吉田医院

昭和56年10月に須賀川の地で開院し、平成16年4月からは、内科・神経内科として熊谷ユキ絵先生が院長に就任しております。

内科疾患の治療、健康診断、予防接種、産業医、学校医等に加え、さまざまな神経難病の患者さんを診ており、治療困難な病気を持っていても、地域の中でできるだけ長く生活していくサポートをさせて頂きたいというお気持ちで、訪問看護や介護に携わる様々な職種の方との連携が非常に重要であると捉え、在宅療養を地域全体として支えていく一助になればとのお考えで、地域医療に携わっていただいております。



- 資格 医学博士号
日本内科学会認定内科医
日本神経学会専門医
日本医師会認定産業医
日本認知症学会専門医



- 診療科目: 内科 神経内科
- 〒962-0841
福島県須賀川市上北町96-1

0248-76-2117

診察時間

	月	火	水	木	金	土
9:00 ~ 12:00	●	●	—	●	●	●
14:00 ~ 18:00	●	●	—	●	●	~ 15:00

土曜日午後は3時までです。水曜日、日曜日、祝日は休診ですが、訪問診療患者さんの電話対応は可能です。

●外来担当医表●

外来担当医は都合により変更となる場合がありますので、ご了承ください。

【平成31年1月1日より】

区 分	月	火	水	木	金
内 科 1	安 田 千 尋	安 田 千 尋		大 戸 齊 ※	安 田 千 尋
内 科 2	佐 藤 由 紀 夫 (第1・3)				
検 査				安 田 千 尋	
脳 神 経 内 科	伊 藤 英 一 (予約制)	根 本 和 夫 (予約制)	伊 藤 英 一 (予約制)	根 本 和 夫 (予約制)	杉 浦 嘉 泰 (予約制)
小 児 科	石 井 勉 (2・4) 福 島 医 大	氏 家 二 郎 石 井 勉	廣 瀬 千 穂	氏 家 二 郎	河 原 田 勉
専 門 外 来 (発達小児クリニック)		氏 家 二 郎 石 井 勉			河 原 田 勉
専 門 外 来 (小児神経外来) ※	平 山 恒 憲 (第2)			石 井 希 代 子 (1・3・5) 加 藤 朝 子 (2・4)	
専 門 外 来 (小児循環器外来)			桃 井 伸 緒 (第2・4)		
小 児 専 門 外 来			予 防 接 種 (午後)		
整 形 外 科	古 川 浩 三 郎 (予約制)	古 川 浩 三 郎 (予約制)	古 川 浩 三 郎 (予約制)	古 川 浩 三 郎 (予約制)	古 川 浩 三 郎 (予約制)
小 児 外 科				清 水 裕 史	
脳 神 経 外 科		福 島 医 大 (第2・4)			

※小児神経外来は再来のみとなります。

※大戸斉先生の診療日についてはお問い合わせください。

●外来受付時間は8:30～11:00までです。急患については随時受付いたします。

●外来担当医表は平成31年1月1日時点のものです。その後担当医が変更になっている場合もありますので、当院ホームページ、院内掲示等をご確認下さい。

●専用ダイヤルができました●

診療のお問い合わせ・ご相談 (月～金 8:30～17:15)

診 療 の 予 約 ・ 変 更 等 (月～金 13:00～17:00)

専用ダイヤル 0248-75-2259

●編集後記●

「三日月は そろぞろ寒さは 冴返る」 一年の中で今が一番寒さも厳しく、この句のように三日月の夜空は澄みわたってきれいですが、一段と寒さがぶり返している今日この頃です。

須賀川は雪の少ない土地ですが、朝晩の冷え込みは格別に身にしみます。そうはいっても来る春を待ちわびながら当院の未来に思いを馳せるにはもってこいです。

(編集委員 S・T)



Fukushima National Hospital
独立行政法人国立病院機構

福島病院

〒962-8507 福島県須賀川市芦田塚13番地
☎0248-75-2131 (代表)

<https://fukushima.hosp.go.jp/>